

古代ギリシアを手がかりにしたファッション

19番 高橋理恵

【制作意図】

私が古代ギリシアの衣服を見たとき、現在の服のように立体的に服を作るのではなく、布を身体にたれかけとめることでできる、ひだの生み出す自然の美しさに感動した。

そこで、古代ギリシア人の衣服の特徴をとり入れ、現代の服装を造形してみようと思った。

【製作過程】	【デザインコンセプト】
テーマ設定	自然の美しさ
資料収集	スタイルA... 「ひだのながれ」 布でギャザーやプリーツをすることで、ひだの流れの美しさを表現した。
イメージ展開	
スタイル画製作	スタイルB... 「まきつける」 はりのあるやわらかい布をまきつけることにより、美しいドレープを形作った。
パターン製作	
材料購入	
製作	スタイルC... 「たれかけてとめる」 やわらかい素材をたれかけて、とめることによってできるドレープの美しさを表現した。
完成	

【考察・感想】

古代ギリシアの服装イメージが3つの服装に表現できたと思う。服装をデザインすることは、デザイン要素である形、色、素材をうまく統一してまとめていくことであるが、どのような素材を使うかによって、服のイメージがずいぶん変わってしまい、素材選びがいかに大切であるか、身をもって感じられた製作だった。

今回の製作で、自分の思い通りのモノを作りたいへんさと、こだわりを持つことの大切さを学んだ。



スタイルA



スタイルB



スタイルC